

# 取扱説明書

## 据付編

形名

イー エス エイチディー ピー

# ES-HD63P

### 設置される方へ

この取扱説明書(据付編)を必ずお読みになり、正しく設置してください。

設置の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

不具合のないことを確かめてからオーナー(管理者)の方にお渡しください。

同梱の付属品(本書に記載)をお確かめのうえ、「輸送用固定ねじ」をオーナー(管理者)の方にお渡しください。

### オーナー(管理者)の方へ

この取扱説明書(据付編)は、転居や移設、また配管清掃後などの再設置に備えて、「輸送用固定ねじ」とともに必ず保存してください。

## もくじ

ページ

### 準備と確認

- 持ち運びかた

#### 安全上のご注意

#### 各部のなまえ

- 各部のなまえ
- 付属品

#### 据え付け前の確認

- 寸法図
- 据付場所
- 設置寸法
- 排水口の位置
- 水栓のタイプと蛇口の位置
- 電源とアース線

表紙

2

3

3

3

4

4

4

5

6

7

7

### 据付と移設

#### 据え付ける

- 1: 排水ホースの取り出し方向を変える
- 2: 輸送用固定ねじをはずす
- 3: 排水口に接続する
- 4: がたつかないように調整する
- 5: 給水ホースを取り付ける

#### 試運転をする

- 1: 洗剤ポンプの準備をする
- 2: 試運転をする
- 3: 必要に応じておこなってください

#### 転居や移設をするときは

8

8

8

9

11

11

13

13

15

16

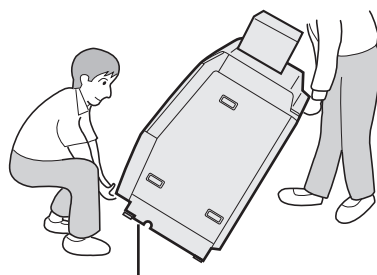
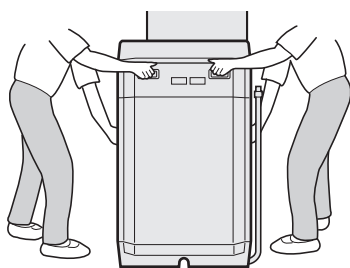
裏表紙

本書の ページ 内の数字は、主な説明のあるページを示しています。

## 持ち運びかた

### 2人以上で持ち運ぶ

- 輸送用固定ねじを付けて移動させてください。  
【外槽が傷付く原因】





下にも「とって」があります



# 安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。







■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
 <b>注意</b>	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。


■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけないこと。
	しなければならないこと。

## **警告** 火災や感電、けがを防ぐために

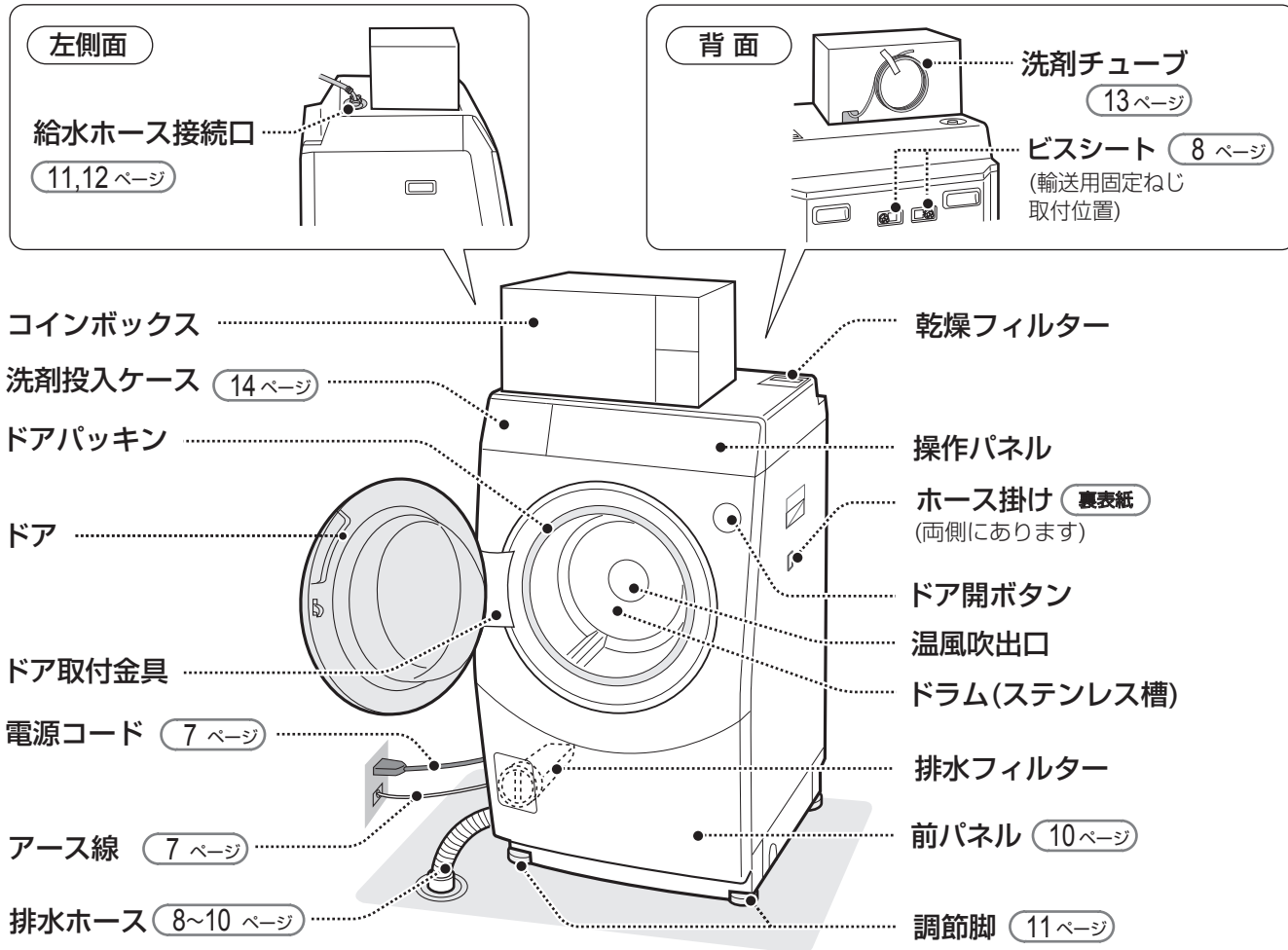
 移動や設置のさいは必ず電源プラグをコンセントから抜く <small>プラグを抜く (感電やけがの原因)</small>	 アースを確実に取り付ける <small>(故障や漏電のときに感電の原因) アース線接続</small>
 電源プラグは、濡れた手で抜き差ししない <small>(感電やけがの原因)</small>	 浴室など湿気の多い所や風雨にさらされる場所に置かない ● この洗濯機は室内用です。必ず屋内に設置してください。 <small>(感電や漏電による火災や故障の原因)</small>
 交流100V、定格15A以上のゆるみがないコンセントを単独で使う <small>(電源や定格が異なったり、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)</small>	 引火物を本体の中に入れたり、近付けない ● 灯油・ガソリン・シンナー・アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯、乾燥しないでください。 <small>(爆発や火災の原因)</small>

## **注意** 漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

 運転中は、本体の下に手足などを入れない ● とくに、置台などを使用すると床面とのすき間が大きくなります。ご注意ください。 <small>(電気部品・回転部があり、けがや感電の原因)</small>
---

# 各部のなまえ

## 各部のなまえ



### ドアについて

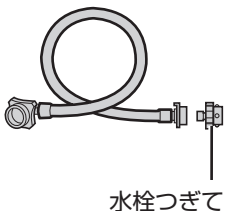
- ドア開ボタンを押すとドアが開きます。閉めるときは、ドアをしっかり押し閉めてください。
- ドアを開閉するときには、ドア取付金具の近くに手を置かないでください。【けがの原因】

## 付属品

給水ホース (1組)

長さ0.8m

(11,12 ページ)



鍵(コインボックス用) (2個)

保証書 (1部)

ビスシート (2枚) (8 ページ)

コースボタン隠し用シート (3枚)

ラベルシート【大】 (1部)

ラベルシート【中】 (1部) (16 ページ)

ラベルシート【小】 (1部)

※同じ袋に入っています

洗剤用付属品 (13 ページ)

ふた(1個)

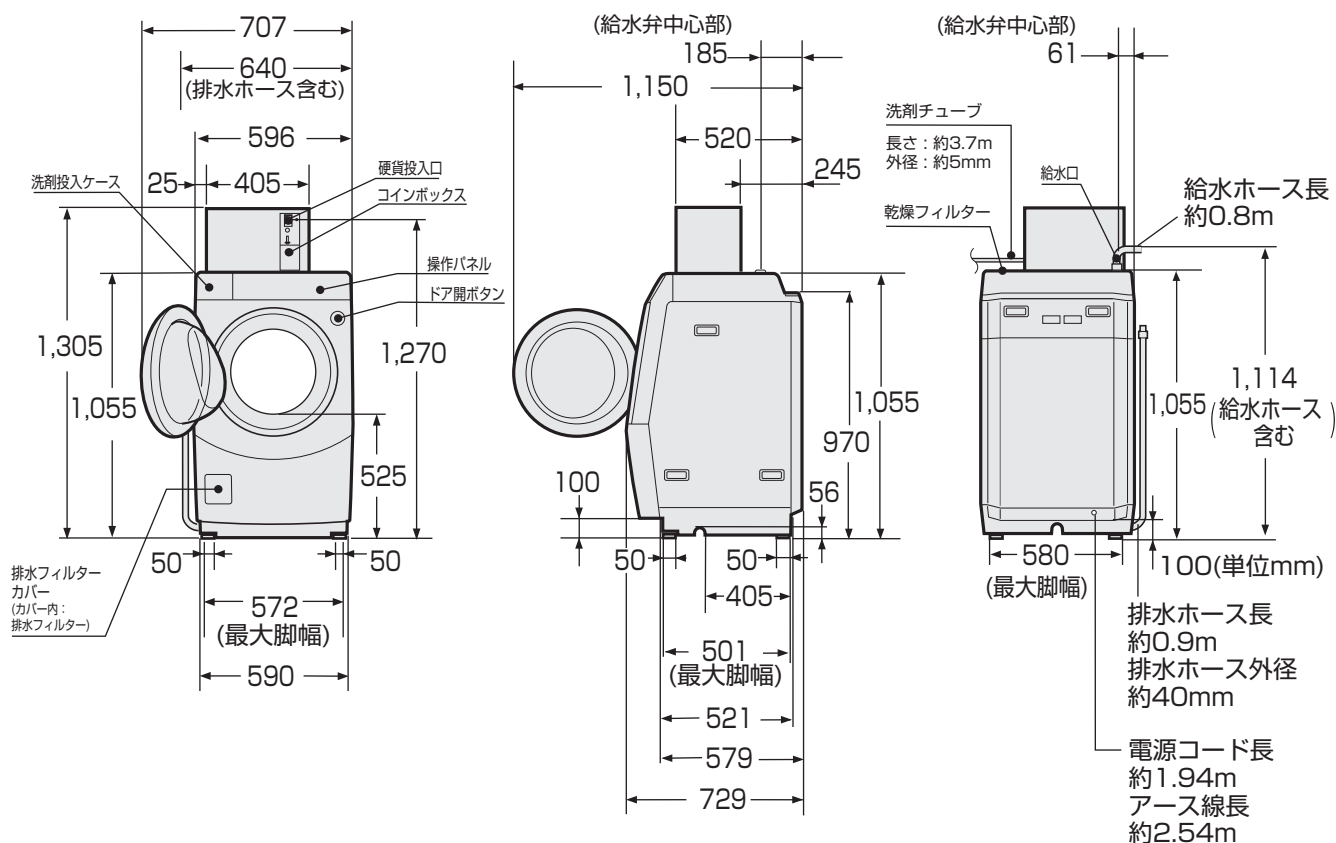
おもり用ナット(2個)

T型ジョイント(1個)

結束バンド(1本)

# 据え付け前の確認 1

## 寸法図



## 据付場所

- 平らな場所に設置する
- 次のような所には、置かない
  - 冬期に凍るおそれのある所(水抜きや解凍が必要)
  - 直射日光のあたる所【紫外線でプラスチックが傷み破損したり、変形や故障の原因】
  - タイルなどのすべりやすい床、ベランダや弱い床、平らでない所【振動や騒音が大きくなったり床を傷める原因】
  - ブロックやレンガ、角材の上など不安定な所【振動や騒音、本体が転倒してけがの原因】
- ラジオ、テレビなどは本体からできるだけ離す【雑音の原因】

## 設置寸法

### 壁の傷付き防止や点検のために

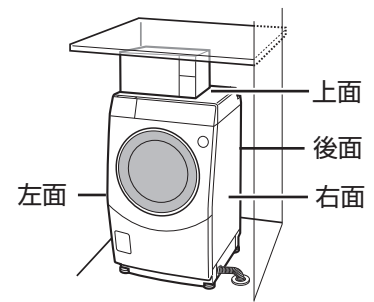
- 壁から1cm以上離し、前方は開放する。
- 排水口側は9cm以上離す。真下排水するときは1cm。
- 蛇口や水栓つぎてからも離す。

- 「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。

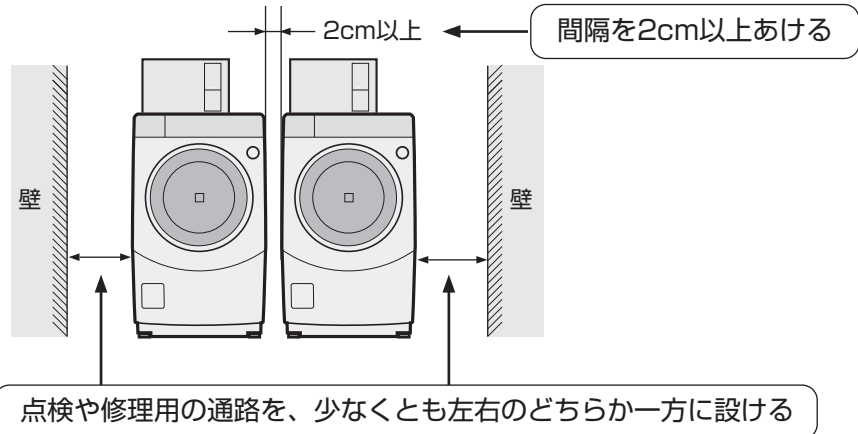
建築物の可燃物などからの離隔距離は、右表に掲げる値以上の距離が必要です。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離 (cm)
上方	0
前方	開放
後/右/左方	1
下方	0

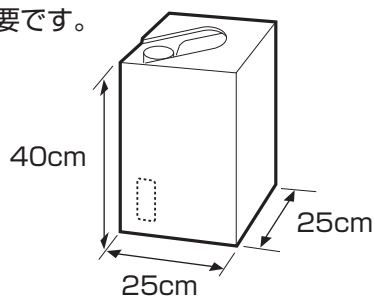


- 2台以上並べて使用する場合



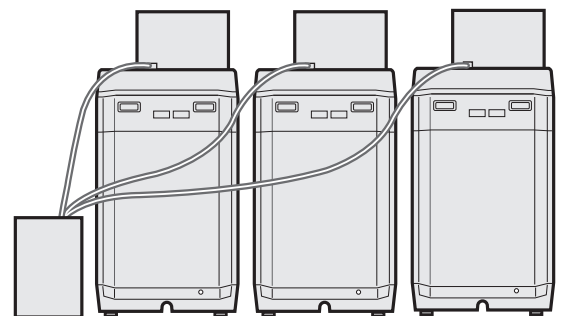
### 洗剤容器の設置について

- 洗剤容器を設置するために、右図のスペースが必要です。



- 洗剤容器は本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。

- 洗剤容器1個につき、3台まで使用できます。



# 据え付け前の確認 2

## 排水口の位置

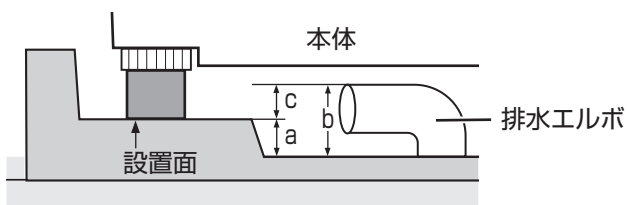
防水パンを使用する場合：排水口の位置と防水パンの種類によって下表の通り、別売品が必要になる場合があります。

床に直置きする場合：排水口が本体の真下にあるときは、下表を参考に別売品をお求めください。

●別売品のご購入について詳しくは、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

排水口の位置	本体の真下以外		本体の真下				
使用可能な防水パン	防水パン 内寸幅 680mm以上		台のない防水パン 内寸幅 600mm以上		台付きの防水パン (四隅が高くなっている) 内寸幅 590mm以上		
	排水エルボ	あり	なし	あり	なし	あり	なし
別売品	不要		据付脚	真下排水 つぎてセット (据付脚同梱)	下記条件により 脚スペーサー または据付脚が 必要な場合が あります	排水しつぎて	

排水エルボが設置面より15mm以上高い場合は、高さ調整が必要です



排水エルボの高さ(b)と設置面の高さ(a)の差(c)によっては排水ホースと本体のすき間を確保するため、高さ調整が必要です。

下表を参考に、別売の「脚スペーサー」や「据付脚」で調整してください。

脚スペーサー※

据付脚



c寸法(c = b - a)	15mm未満	15mm以上 24mm未満	24mm以上 42mm未満	42mm以上 51mm未満
脚スペーサー(+9mm)	—(不要)	○(必要)	—(不要)	○(必要)
据付脚(+27mm)	—(不要)	—(不要)	○(必要)	○(必要)

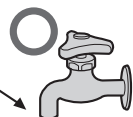
※ 固定脚に取り付けて使う。重ねると9mmまで調節可。調節脚で高さを調整して水平に設置する。 (11ページ)

## 水栓のタイプと蛇口の位置

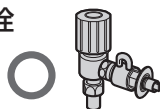
適した蛇口

### 横水栓

先端の傷に注意  
【水漏れの原因】



### 分岐水栓



洗濯機専用として使えます。  
(取り付けられない水栓タイプもあります)

分岐水栓は別売品で取り揃えています

適さない蛇口

下記オートストッパー付き水栓ジョイント(別売品)をお求めのうえ、付け替えてください。

### 自在水栓

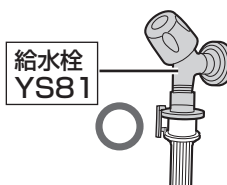


### 万能ホーム水栓

先端が弱く、  
はずれるおそれ



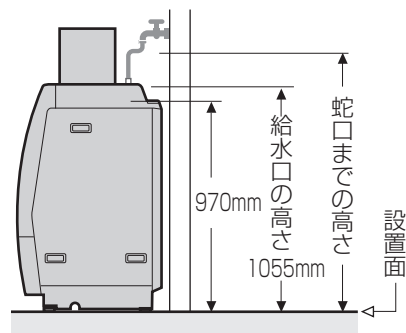
径が合わない、ロックレバーが  
しっかり受けられないもの



蛇口の位置

本体を壁に沿わせて設置する場合、蛇口の高さにより  
壁ピタ水栓(別売品)が必要になることがあります。

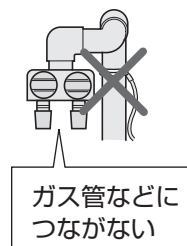
設置面から蛇口までの高さ	壁ピタ水栓(別売品)
1200mm以上	不 要
980mm以上 1200mm未満	蛇口の種類によっては必要
980mm未満	必 要 (場合によっては設置不可)



## 電源とアース線

- 本機1台につき交流100V、定格15A以上で使用する
- アース工事(D種設置工事)をしたコンセントを使用し、本機のアースを確実に取り付ける

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に  
接続しないでください。(法令で禁止されています)



- 水気や湿気の多い所に設置する場合は、必ずアース工事(D種設置工事)をするように法律で義務付けられています。水気のある場所では、漏電遮断器の取り付けも義務付けられています。

# 据え付ける 1

## 1：排水ホースの取り出し方向を変える (必要に応じておこなう)

### ① 背面を下に向けて静かに倒す

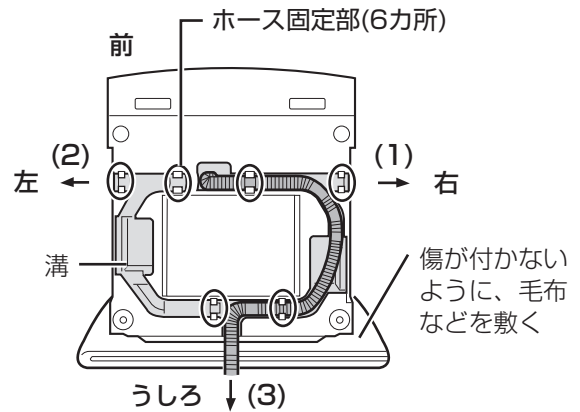
必ず輸送用固定ねじを付けて倒す

【付けずに倒すと、内部の機構部品が破損したり、水漏れの原因】

- ホース内に製品検査用の水が残っていることがあります。作業中に流れないようにご注意ください。

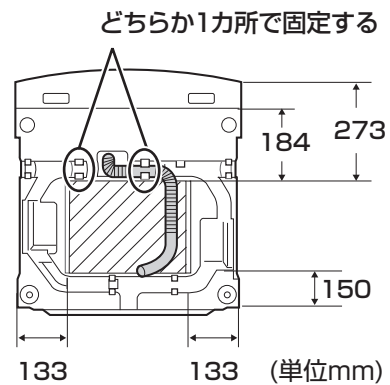
### ② 排水口の位置に合わせて、取出口(1)～(3)から取り出し、ホース固定部○で固定する

### ③ 静かに本体を起こす



### 排水ホースを本体の横から出さずに接続する場合

※ 排水エルボなどが斜線部以外的位置にある場合、排水エルボが本体に当たって接続できない場合があります。

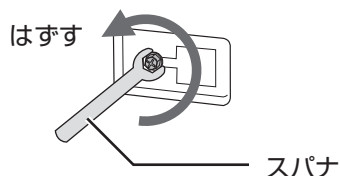


## 2：輸送用固定ねじをはずす

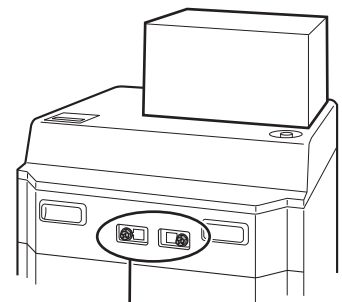
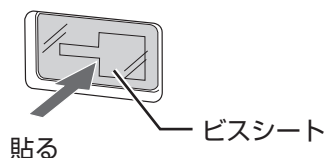
### ● 輸送用固定ねじ(2本)は必ず取りはずす【はずさずに運転すると異常な振動の原因】

取りはずした輸送用固定ねじは、転居や移設時に必要です。必ず保管してください。

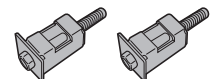
### ① 13mmスパナで輸送用固定ねじ(2本)をはずす



### ② 輸送用固定ねじをはずした穴(2カ所)に付属のビスシートを貼り付ける (けがを防ぐため)



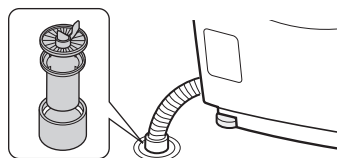
輸送用固定ねじ(2本)





### 3：排水口に接続する

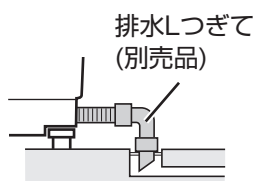
- 据え付け前に必ず排水口を掃除する  
【排水が悪くなったり異臭の原因】



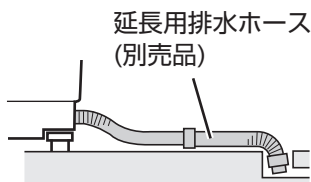
- 排水ホースを本体や脚で敷き込まない  
また、排水ホースが排水口から抜けないよう、しっかり接続する  
【接続不十分の場合、ホースが抜けて水漏れの原因】

- 水が流れやすいように排水口に接続する  
【排水が悪いと、排水時間がかかる、運転が途中で止まる、排水フィルターをはずすときに多量の水が出る、洗剤投入ケースから水漏れする原因】

- 排水ホースが折れ曲がる  
ときは、排水Lつぎで  
(別売品)で折れ曲がり  
を防ぐ

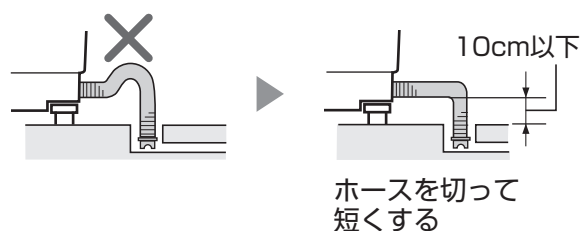
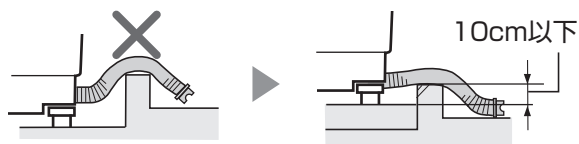


- 排水ホースが短い  
ときは、延長用  
排水ホース(別売品)  
を使う



※ 延長ホースは内径3cm以上、長さ1.5m以下にする

- 必ず、設置面からの排水ホースの高さを10cm以下にする  
【ホースの位置が高いと運転が止まる原因】



排水ホースを切るときはくびれた部分で  
切って、スリーブを差し替える



# 据え付ける 2

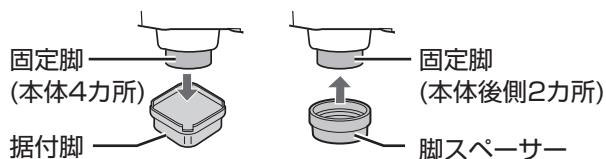
## 3 : 排水口に接続する (つづき)

### 真下排水のしかた

接続する前に **6 ページ** の「排水口の位置」の表で必要な別売品を確認し、準備してください。

1

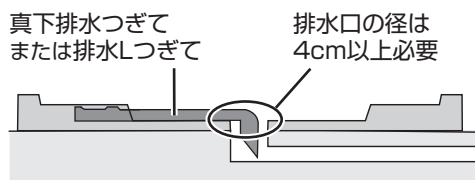
据付脚または脚スペーサーが必要な場合は本体に取り付ける  
(排水ホースが機構部に触れて破れるのを防ぎます)



2

真下排水つぎてまたは排水Lつぎてが必要な場合は、排水口にセットする

- 真下排水つぎてが長い場合は、くびれた部分でつぎてを切る。

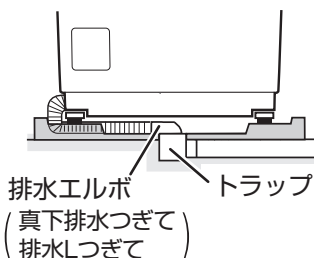


3

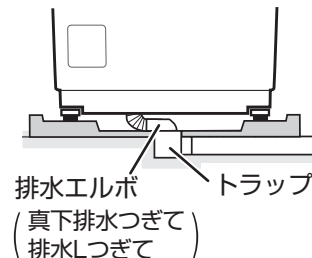
- ① 本体を設置し、排水口の位置に合わせて排水ホースを切る
- ② 排水エルボ(または真下排水つぎて・排水Lつぎて)に接続する  
前パネルと回路ユニットをはずし、内部で排水口に接続する

- 作業中は、機構部に触れないようご注意ください。また、排水ホースが機構部に触れると破れる原因になりますので、併せてご注意ください。

排水ホースを本体の横から取り出して接続する場合

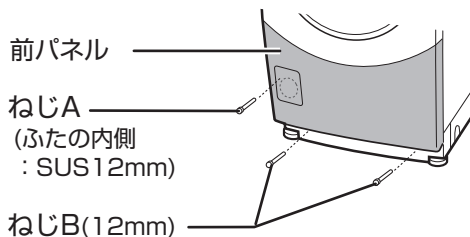


排水ホースを本体の横から出さずに、接続する場合

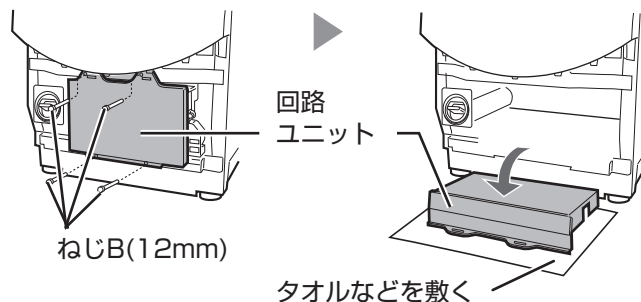


### 作業スペースが狭いときは、前パネルと回路ユニットをはずして作業ができます

- ① ねじA・Bをはずして、前パネルをはずす



- ② ねじBをはずして、回路ユニットを手前に倒す



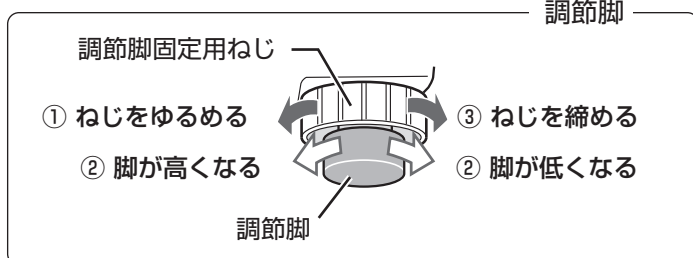
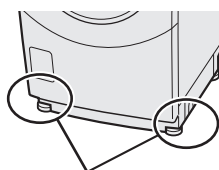
- ③ 作業後は、逆の手順で組み立てる。はずしたねじは必ず元の位置に取り付ける  
【間違って取り付けると、ねじがゆるみ、騒音や故障の原因】

## 4 : がたつかないように調整する

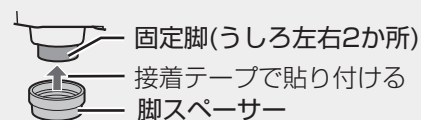
- がたつきをなくし、水平に設置する【がたつきや傾きは大きな振動や運転途中停止の原因】  
設置後は本体上部の対角を押さえながら揺り動かし、がたつかないことを確認する。

### 前側の調節脚(左右2カ所)で高さを調節できます

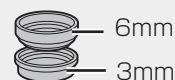
- ① 調節脚固定用ねじをゆるめる
- ② 調節脚を回して脚の高さを調節する
- ③ 調節脚固定用ねじで確実に付ける  
【確実に締め付けないと振動の原因】



調節脚だけで高さ調整できない場合は、脚スペーサー(別売品)で固定脚(うしろ左右2カ所)も調節してください。



- 重ねる場合は3mmを下にしてください。(逆にするとすき間ができます)

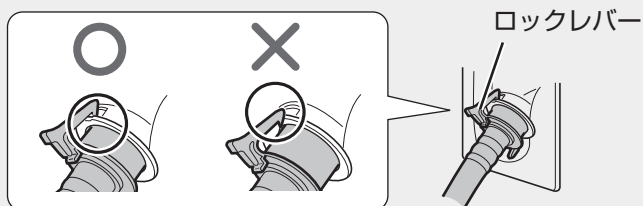


## 5 : 給水ホースを取り付ける (取り付けかたは 12ページ)

### ご注意

- 水栓つぎと給水ホースは、必ず同梱のものか別売品 (7ページ) をお使いください。  
すでに付いている場合も、新しいものに取り換えてください。

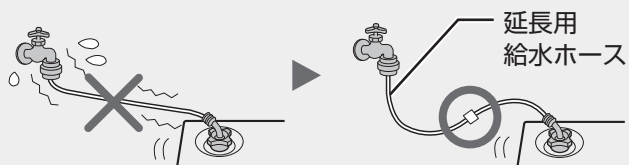
- 作り付けの水栓などの場合もロックレバーを確実にかけます。特に受ける面積が狭いものにご注意ください。  
【水圧ではずれ、水浸しの原因】



- 水栓つぎでは正しく取り付けます。  
【水圧ではずれ、水浸しの原因】



- ホースが短い場合、別売の延長用給水ホースで延長してください。  
【振動などでホースや水栓つぎがはずれ、水浸しの原因】



# 据え付ける ③

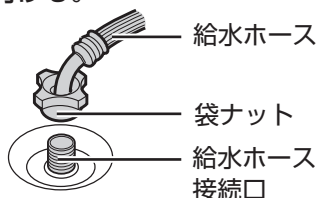
## 5: 給水ホースを取り付ける (つづき)

1

本体に給水ホースをつなぐ

袋ナットを給水ホース接続口にまっすぐあてがい、強く締め付ける。

- 袋ナットをホースと一緒に動かすと、よく締まります。

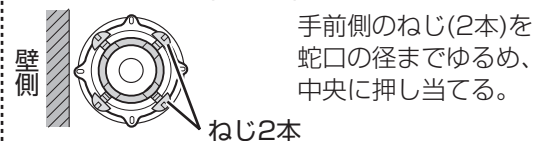


蛇口に水栓つぎてを取り付ける

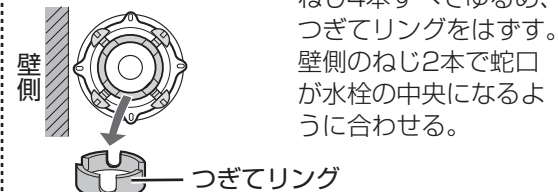
別売のオートストッパー付き水栓ジョイント、分岐水栓、壁ピタ水栓には取付不要です。手順3に進んでください。

① ねじをゆるめて蛇口に当てる。

< 蛇口の径が普通(16mm) >



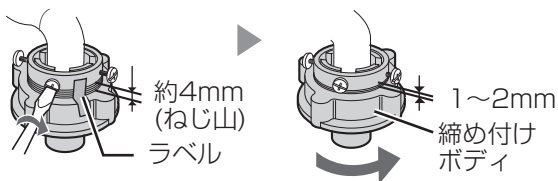
< 径が大きい >



② まっすぐに押し当てながら、手前のねじを均等にしっかり締める。

③ ラベルをはがし、締め付けボディを、ねじ山の見える部分が1~2mmになるまで手で強く締める。

【締め付けないと水漏れの原因】

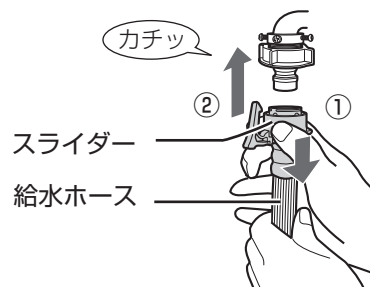


- 取り付け直すときは、ねじ山が4mm程度見える状態まで戻してから蛇口に取付けます。その後 ③ と同様に1~2mmになるまで締め付け直します。

3

水栓つぎてに給水ホースをつなぐ

- ① スライダーを引き下げながら
- ② 水栓つぎてに音がするまで差し込み、スライダーをはなす。



取り付け具合を確認する

- 給水ホース接続部のぐらつき・ゆるみや、ホースの折れ曲がりがないか確認する。【水圧で水が飛び散る原因】



一度、はずして

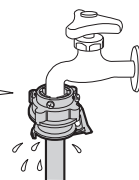
付け直す。

ホースの根元を持って左右に動かし、締め付けを確認する。

4

- しっかり止まったかどうか、ホースを引っ張り確認する。
- 蛇口を開き、水漏れしないか確認する。
- 長期のご使用でねじがゆるむと、水浸しなど思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検してください。

- 傾き・ぐらつき・ゆるみがないようにする



# 試運転をする 1

## 1 : 洗剤ポンプの準備をする

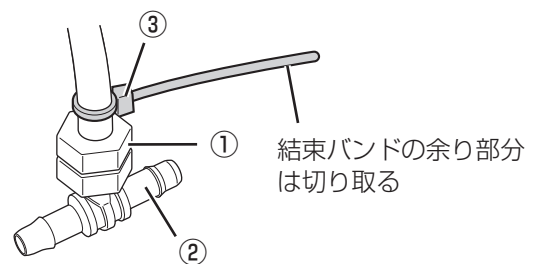
- 必ず専用洗剤をご使用ください。
- 他の洗剤を使用すると、洗剤ポンプの故障や液漏れのおそれがあります。また、適正な洗剤量が供給されないため、汚れ落ちやすすぎなどが悪くなります。

### 1 : 準備する

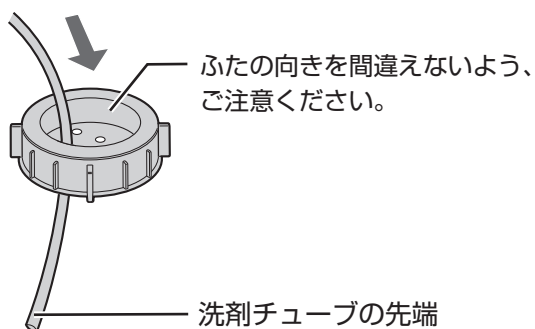
コインボックスの裏側にある洗剤チューブをはずす

- 洗剤チューブを切って短くする場合は、洗剤チューブの先端が洗剤容器の底に確実に届くよう、長さには余裕を持たせてください。
- 洗剤容器は本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。

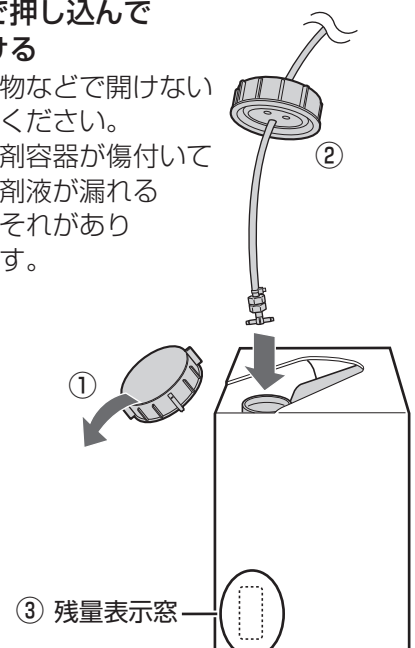
- ① 洗剤チューブの先端に付属のおもり用ナット2個を取り付ける
- ② 付属のT型ジョイントを取り付ける
- ③ ナットが移動しないように付属の結束バンドで留める



付属のふたに洗剤チューブを通す



- ① 洗剤容器のふたをはずす
- ② 洗剤チューブの先端を洗剤容器の底まで確実にに入れて、付属のふたを取り付ける
- ③ 残量表示窓をミシン目に沿って指で押し込んで開ける
  - 刃物などで開けないでください。洗剤容器が傷付いて洗剤液が漏れるおそれがあります。

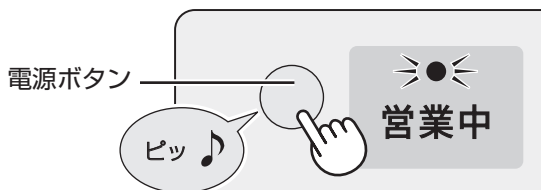


# 試運転をする 2

## 1 : 洗剤ポンプの準備をする (つづき)

### 2 : 洗剤ポンプに洗剤を充填する

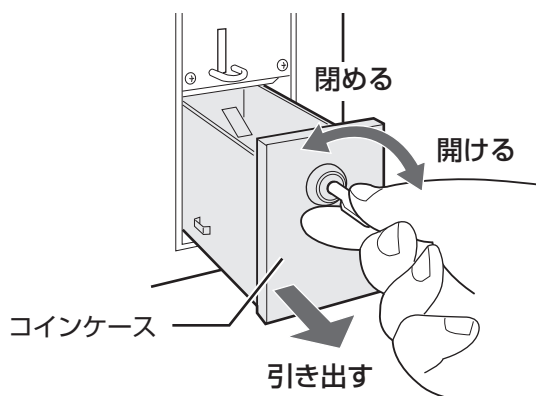
電源を入れて、蛇口を開ける



電源が入ると、営業中ランプが点灯し、「ドラム洗浄」ボタンとコース選択ボタンのランプが点滅する

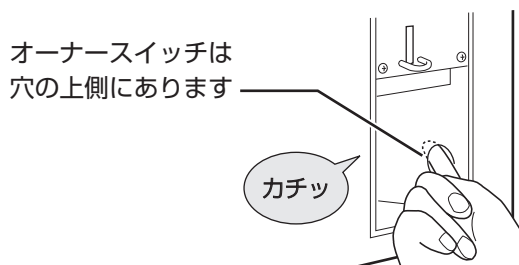
#### ① コインケースをはずす

- 運転停止状態ではずしてください



#### ② 右横の穴に指を入れてオーナースイッチを押して、オーナーモードに入る

オーナースイッチは穴の上側にあります



オーナースイッチを押すと、モード番号「1」を表示する



#### ① モード番号「4」を選ぶ



押すたびに番号が変わる

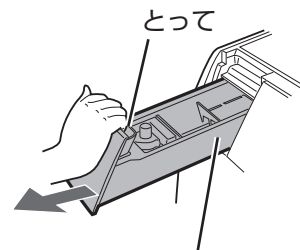


#### ② 「4」を決定する



洗剤自動投入機能の有効/無効表示をする工場出荷時は「有効」に設定しています。(乾燥のみボタンのランプが点灯し、「1」を表示)

#### 本体から洗剤投入ケースをはずす



洗剤投入ケース

止まるまで引き出し、先端を持ち上げてはずす

## 2：試運転をする

ドラム洗浄コースで試運転をおこない、水漏れや異常振動がないことを確認する



▶ 1分間、運転します

- ドラム内に何も入れずに運転してください。
- 洗剤の泡がドラム内に残った場合は、泡を拭き取り、もう一度ドラム洗浄コースを運転してください。
- ドラム洗浄コース運転後、3分間はドラム洗浄コースを選ばません。すぐに運転したいときは電源を切り、再度電源を入れてください。

● 以下のことは、状況に応じておこなってください (16 ページ)

- ① 付属ラベルシート【中】を洗剤投入ケースの下に貼る
- ② 運転回数・コイン枚数が「0」になっていることを確認する
- ③ コースの料金・乾燥時間を変更したり、暗証番号機能(セキュリティロック機能)を設定する

(③の手順は、別冊「オーナー編」をご覧ください)

電源の切りかた



同時に5秒押す

電源が切れる

### ① 洗剤ポンプを運転する



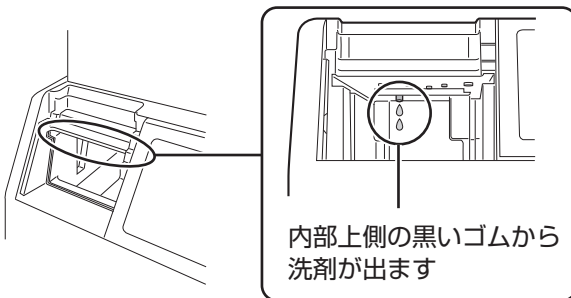
押すたびに、洗剤ポンプの運転/停止が切り換わる  
(停止操作がない場合は、運転から3分後に自動停止します)



洗剤ポンプ運転中は点滅



### ② 洗剤が流れることを確認する

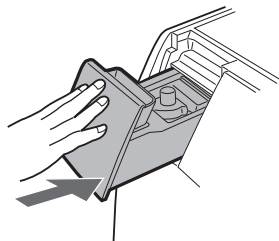


- 初めて洗剤ポンプを使用するときは、洗剤ポンプ運転開始から洗剤が出てくるまで約1～2分かかります。  
(洗剤チューブに洗剤が行き渡るまでに時間がかかるため)

### ③ ②を確認後、「ドラム洗浄」ボタンを押して洗剤ポンプを止める

### 洗剤投入ケースを取り付ける

先端を軽くはめ、まっすぐに押し込む



### ① オーナースイッチを押して、オーナーモードを終了する

### ② コインケースを取り付ける

5

6

7

# 試運転をする 3

## 3 : 必要に応じておこなってください

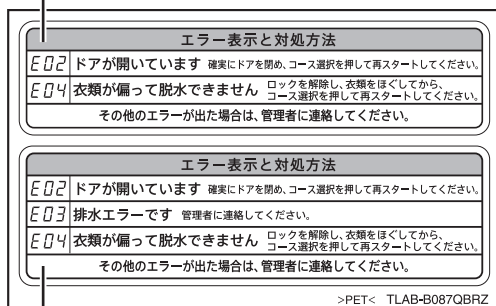
### 付属ラベルシート【中】の貼りかた

- ラベルは2種類入っています。  
オーナー(管理者)が選択したラベルを貼ってください。

#### ラベルシート【中】

##### 上側のラベル

利用者に「E02」(ドア開エラー)と「E04」(衣類片寄りによる、脱水停止エラー)の対処方法のみお知らせする場合



##### 下側のラベル

利用者に上側のラベルの内容と「E03」(排水エラー)の対処方法をお知らせする場合

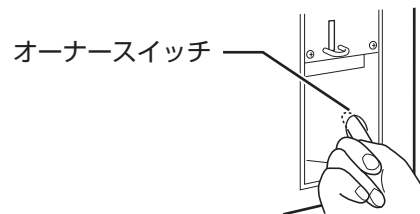


洗剤投入ケースの下にラベルを貼る

### 運転回数・コイン枚数の確認のしかた

- ご使用前に各コースの運転回数・コイン枚数が「0」になっていることを確認してください。  
(ドラム洗浄コースは除く)
- まれに、製品検査時の運転テストの運転回数とコイン枚数が残っている場合があります。  
その場合は、運転回数とコイン枚数をリセットしてからご使用ください。

#### オーナースイッチを押す



1

モード番号「1」を表示する



#### 「1」を決定する



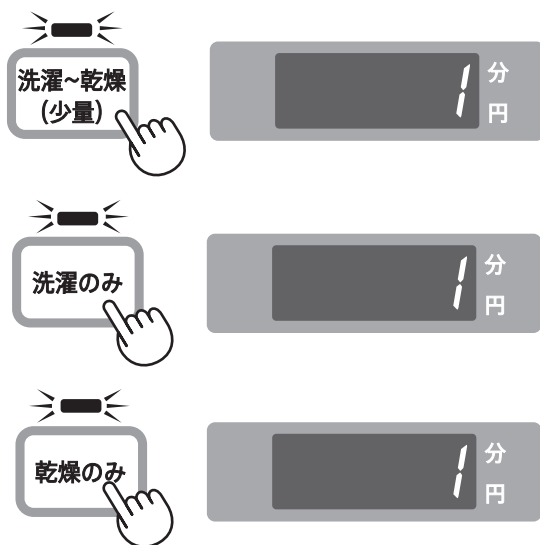
2

洗濯～乾燥(標準)コースの運転回数を表示

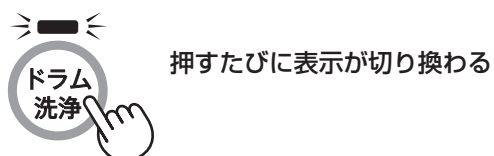




## ① 他のコースの運転回数を確認する



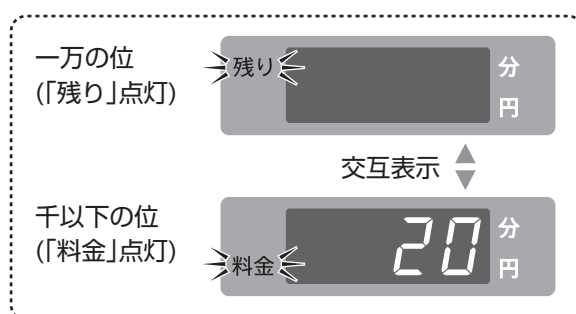
## ② コイン枚数とコイン積算枚数を確認する



コイン枚数表示(例：13枚)



コイン積算枚数表示(例：20枚)



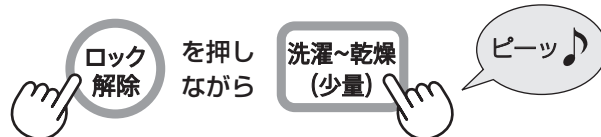
## 運転回数とコイン枚数が「0」のとき

そのまま手順5に進む

## 運転回数とコイン枚数が「0」でないとき

## ① 運転回数とコイン枚数をリセットする

- コイン積算枚数はリセットされません



▶ リセット完了

## ② 手順3に戻り、運転回数とコイン枚数がリセットしたことを確認する

① オーナースイッチを押して、オーナーモードを終了する ▶ 通常の表示(コース選択表示)に戻る

② コインケースを取り付ける

# 転居や移設をするときは

## 給水ホース・輸送用固定ねじ・排水ホースについて

- 転居や移設をするときは、次のことを忘れずにおこなってください
  - 給水ホース内の水圧を抜いてから、給水ホースをはずす。
  - 輸送用固定ねじを取り付けてから移動する。(移動中の外槽の傷付きを防ぐため)
  - 排水ホースを本体のホース掛けに掛けて、ガムテープなどで本体に固定する。(移動中に排水ホースが倒れてホース内の残水で床を濡らすことを防ぐため)

### 給水ホースのはずしかた

給水ホース内の水圧を抜く

① 蛇口を閉じる

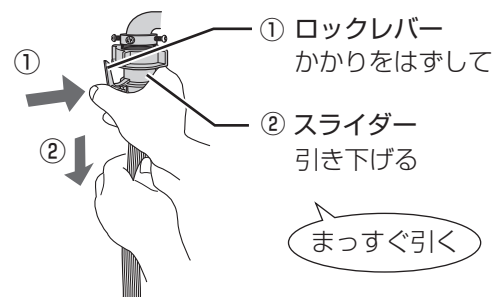


③ 約15秒運転し、電源を切る



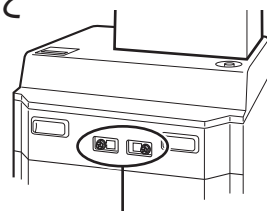
給水ホースをはずす

- ホース内に水が残っているので容器などで受けてください。



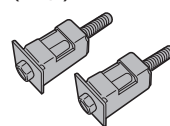
### 輸送用固定ねじの取り付けかた

ビスシートをはがして  
13mmスパナで  
輸送用固定ねじ  
(2本)を取り付ける

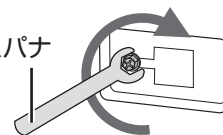


輸送用固定ねじ  
(2本)

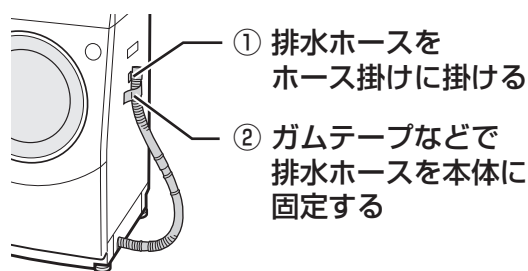
取り付ける



スパナ



### 排水ホースの処理のしかた



- ホース掛けは左右にあります。
- 排水ホースが短く、ホース掛けにかけられない場合は、本体を傾けて排水ホース内の残水を抜いてから、排水ホースの先端を雑巾でふさぎ、排水ホースを立てた状態でガムテープなどで本体に固定してください。

## シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号